

■歴代市長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	竹内洋二	H17. 4.17	H19. 9. 3
2代	片岡聡一	H19.10.14	H23.10.13
3代	片岡聡一	H23.10.14	

■歴代副市長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	吉富陸夫	H17.11. 1	H19.10.15
2代	竹田正彦	H20. 4. 1	H23. 3.31
3代	荒木政廣	H23. 4. 1	

■歴代議長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	荒木勝美	H17. 3.28	H17. 8.28
2代	服部剛司	H17.10.14	H19.10.26
3代	中村吉男	H19.10.26	H21.10. 1
4代	萱原潤	H21.10. 2	H23.10. 4
5代	渡邊繁雄	H23.10. 4	H25.10. 1
6代	剣持堅吾	H25.10. 2	

■歴代教育長

歴順	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	桑田交三	H17. 5.12	H21. 5.11
2代	桑田交三	H21. 5.12	H24. 3.31
3代	山中榮輔	H24. 4. 1	H25. 5.11
4代	山中榮輔	H25. 5.12	

# 総社 2013

市勢要覧

統計資料編



写真は総社市の市街地

数字で見る総社市の暮らし

<p><b>出生</b> (平成24年)</p> <p>年間560人 1日に1.53人</p>	<p><b>死亡</b> (平成24年)</p> <p>年間678人 1日に1.86人</p>	<p><b>婚姻</b> (平成24年。窓口届出件数)</p> <p>年間307組 1日に0.84組</p>	<p><b>離婚</b> (平成24年。窓口届出件数)</p> <p>年間99組 1日に0.27組</p>
<p><b>転入</b> (平成24年)</p> <p>年間2,113人 1日に5.79人</p>	<p><b>転出</b> (平成24年)</p> <p>年間1,919人 1日に5.26人</p>	<p><b>人口密度</b> (平成25年4月1日)</p> <p>1km当たり 322.1人</p>	<p><b>世帯人員</b> (平成25年4月1日)</p> <p>1世帯当たり 2.70人</p>
<p><b>市職員</b> (平成25年4月1日)</p> <p>556人 市民121.6人に1人</p>	<p><b>消防団員</b> (平成25年1月1日)</p> <p>995人 市民68人に1人</p>	<p><b>火災</b> (平成24年)</p> <p>年間18件 1日に0.05件</p>	<p><b>救急出動</b> (平成24年)</p> <p>年間2,761件 1日に7件</p>
<p><b>交通事故</b> (平成24年)</p> <p>年間431件 1日に1.18件</p>	<p><b>家庭ごみの収集</b> (平成24年)</p> <p>年間14,151 t 1日平均38.77 t</p>	<p><b>65歳以上の人</b> (平成25年4月1日)</p> <p>16,780人 市民4.03人に1人</p>	<p><b>市税</b> (平成24年度)</p> <p>市民1人当たり116,065円</p>

市制沿革

年月日	事由
明治8年9月25日	八田部村、清水村、井手市場、金井戸村と合併し、総社村と称する
明治17年8月13日	金井戸村、総社村、井手村に分村する
明治22年6月1日	町村制施行により、総社村、井手村を合併し総社村と称する
明治29年2月26日	窪屋郡西郡村、地頭片山村、岡谷村、宿村が合併し、山手村と称する
明治41年2月11日	窪屋郡黒田村、古地村、上中島村、柿木村、軽部村、三因村が合併し、清音村と称する
明治29年2月26日	総社村が町制を施行。総社町と改称する
明治41年2月11日	総社町が浅尾村を編入する
昭和26年4月1日	総社町が服部村、神在村を編入する
昭和29年3月1日	総社町が秦村、都窪郡三須村を編入する
昭和29年3月31日	総社町が、阿曾村、池田村、久代村、山田村、新本村、都窪郡常盤村と合併し、市制を施行。総社市と称する
昭和47年4月22日	総社市が昭和町を編入する
平成17年3月22日	総社市、都窪郡山手村、清音村が合併し、総社市と称する

昭和29年 1954

- 3月 総社市制施行
- 10月 総社市の市章制定

昭和30年 1955

- 1月 消防団常備部設置
- 1月 市報「そうじゃ」第1号発行
- 7月 湛井淡水水泳場を開設

昭和31年 1956

- 4月 財政再建団体の適用を受ける
- 10月 第1回商業祭・くすり祭を開催

昭和32年 1957

- 2月 旧総社郵便局局舎がしゅん工（総社一丁目）
- 3月 総社市農業委員会が設置される

昭和33年 1958

- 10月 伯備線に初の急行「だいせん号」走る

昭和34年 1959

- 3月 総社警察署旧庁舎しゅん工（総社二丁目）
- 9月 上水道湛井配水池が完成

昭和35年 1960

- 5月 養護老人ホーム入園式。「清梁園」と命名（中原）
- 6月 上水道給水開始

昭和36年 1961

- 1月 総社市で有線放送電話工事が完成
- 6月 池田地区へ北出張所、新本地区へ西出張所を設置

昭和37年 1962

- 4月 市内初の自動信号機設置（総社小学校南側十字路）
- 6月 消防本部と消防署を設置
- 10月 第17回国体相撲競技、総社高校で開催

昭和38年 1963

- 4月 総社市土地改良区が発足
- 4月 総社駅前土地区画整備事業に着手

昭和39年 1964

- 1月 岡山県南新産業都市の指定を受ける
- 10月 国民宿舎「雪舟荘」がしゅん工

昭和40年 1965

- 4月 財政再建団体から脱出する
- 4月 高梁川合同堰が完成
- 7月 し尿処理場「浄化園」が運転を開始

昭和41年 1966

- 3月 備中国分寺、井山十境などが吉備史跡県立自然公園に指定

- 4月 総社市二箇村中学校組合立学校給食共同調理場がしゅん工（総社）し、業務を開始する
- 6月 旧ごみ処理場がしゅん工（門田）

昭和42年 1967

- 2月 新国道180号（門田一湛井）が完成
- 4月 備中国分寺跡、こうもり塚古墳が国指定史跡に

昭和43年 1968

- 6月 旧市営火葬場がしゅん工（門田）
- 10月 山手村新庁舎（現山手支所）が落成
- 12月 救急業務開始

昭和44年 1969

- 3月 精神薄弱児通園施設「総社学園」しゅん工（井手）
- 10月 宝福寺三重塔の復元修理が終わり、落慶式が行われる
- 10月 現市庁舎がしゅん工

昭和45年 1970

- 5月 清音村で村内有線放送施設がしゅん工
- 6月 暴力追放宣言

昭和46年 1971

- 3月 総合スポーツセンター野球場完成
- 12月 総社大橋が完成し、開通式が行われる

昭和47年 1972

- 1月 市民憲章制定
- 4月 勤労青少年ホームオープン
- 4月 吉備郡昭和町を編入合併
- 7月 市営プールが完成
- 10月 消防庁舎がしゅん工し、新庁舎で業務を開始

昭和48年 1973

- 1月 総社市、真備町、山手村、清音村で総社広域環境施設組合を設立
- 4月 市の花、木を制定。総社園広域消防発足
- 5月 総社市民会館、中央公民館など落成

昭和49年 1974

- 3月 市消防署昭和出張所を設置
- 3月 総社駅前広場が完成
- 5月 上林会館がしゅん工
- 6月 勤労青少年体育館がしゅん工（現在のサブアリーナ）

昭和50年 1975

- 5月 総社広域環境施設組合清掃工場がしゅん工
- 7月 第1回総社市民祭が開催される

昭和51年 1976

- 3月 山手村の村章制定
- 4月 西公民館、働く婦人の家がしゅん工
- 4月 県立吉備路郷土館オープン（上林）

昭和52年 1977

- 8月 全国高等学校総合体育大会ボクシング競技が総社高校で開かれる
- 11月 新川辺橋で渡橋式

昭和53年 1978

- 10月 鬼ノ城学術調査終わる。古代山城では第一級の評価を受ける

昭和54年 1979

- 1月 初の名誉市民に林徹前市長を推たいする
- 7月 総社駅前土地区画整理事業が完了
- 9月 清音村の村章制定
- 12月 総社地域保健所が完成

昭和55年 1980

- 4月 岡山厚生年金休暇センターの開所式が行われる
- 6月 吉備路自転車道の区間（グラウンドの区間）全線完成（総社スポーツセンターと岡山県総合グラウンド）
- 12月 備中国分寺五重塔が国指定重要文化財に

昭和56年 1981

- 5月 目の不自由な人に声の広報を始める
- 6月 総社商工会館が完成

昭和57年 1982

- 3月 下倉地内に建設していた一般廃棄物最終処分場が完成
- 5月 市立図書館、業務を開始する
- 7月 伯備線電化に。総社駅に特急「やくも」が停車

昭和58年 1983

- 3月 湛井堰構築800年記念碑の除幕式が行われる
- 8月 総社警察署新庁舎が完成
- 10月 自動車文庫スタート
- 10月 鬼ノ城から倉庫址とみられる礎石建物を発見

昭和59年 1984

- 1月 茅野市・総社市姉妹都市提携式が行われる
- 2月 総社郵便局局舎が完成
- 7月 総社下水処理場の通水式を行う
- 8月 清音村新庁舎（現清音支所）が完成
- 10月 江崎古墳から浪形石製の家形石棺発見
- 12月 旧総社郵便局舎を改装して総社カルチャーセンターがオープン

昭和60年 1985

- 2月 岡崎嘉平太氏を名誉市民に推たい
- 3月 県道清音真金線バイパス全線開通
- 3月 昔公園が開園
- 4月 総社市では住民票発行などにコンピューターを導入

■指定文化財

【国指定】（13件）

番号	指定種別	指定年月日	件名	時期	所在地	管理者
1	建造物	S 2. 4.25	宝福寺三重塔	室町	井尻野	宝福寺
2	建造物	S 55.12.18	備中国分寺五重塔	江戸	上林	国分寺
3	絵画	M 34. 8. 2	絹本着色地藏菩薩像	室町	井尻野	宝福寺
4	絵画	M 34. 8. 2	絹本着色十王像	室町	井尻野	宝福寺
5	工芸・考古	S 48. 6. 6	直刀	奈良	総社	個人蔵
6	無形民俗文化財	S 54. 2. 3	備中神楽	—	—	—
7	史跡	T 10. 3. 3	作山古墳	古墳	三須	総社市
8	史跡	T 11.10.12	備中国分寺跡	奈良	上林	国・岡山県
9	史跡	S 43. 2.15	こうもり塚古墳	古墳	上林	岡山県
10	史跡	S 43. 2.15	備中国分寺跡	奈良	上林	国分寺・岡山県
11	史跡	S 61. 3.25	鬼城山	古代	黒尾・奥坂	総社市
12	史跡	S 11.12.16	福山城跡	南北朝	西部	共有
13	名勝	T 12. 3. 7	豪溪	—	楨谷	総社市

【県指定】（17件）

番号	指定種別	指定年月日	件名	時期	所在地	管理者
14	建造物	S 49. 5.31	備中国分寺跡建物群（庫裏・裏書院・経蔵）	江戸	上林	国分寺
15	石造美術	S 30. 7.19	岩屋の皇の墓	南北朝	奥坂	岩屋寺
16	石造美術	S 34. 1.13	大覚大僧正題目石	南北朝	清音軽部	大覚寺
17	石造美術	S 34. 3.27	磨崖仏	室町	下原	総社市
18	彫刻	S 30. 7.19	木造薬師如来坐像	平安	三須	明光寺
19	彫刻	S 30. 7.19	木造地藏菩薩立像	鎌倉	上林	国分寺
20	工芸・考古	S 34. 3.27	梵鐘	室町	井尻野	宝福寺
21	工芸・考古	H 3. 4. 5	「矢田部首人足」銘埴	奈良	新本	個人蔵
22	古文書	H 23. 3. 4	寶福寺文書	南北朝～江戸	井尻野	宝福寺
23	無形民俗文化財	S 60. 4. 2	新本両国司神社の赤米の神饌	—	新本	本庄・新庄国司神社赤米保存会
24	史跡	S 34. 3.27	秦麩寺	飛鳥	秦	個人
25	史跡	S 39. 5. 6	宮山墳墓群	弥生	三輪	百射山神社
25	史跡	S 39.12. 2	宮山天望古墳（追加指定）	古墳	三輪	百射山神社
26	史跡	S 61. 4. 4	江崎古墳	古墳	上林	総社市
27	史跡	S 62. 4. 3	栢寺麩寺跡	白鳳	南溝手	総社市
28	史跡	H 12. 3.28	宝福寺	鎌倉～明治	井尻野	宝福寺
29	天然記念物	S 47.12. 9	角力取山の太松	樹齢約450年	岡谷	総社市

【市指定】（42件）

番号	指定種別	指定年月日	件名	時期	所在地	管理者
30	絵画	H 6.10.24	絹本着色仏涅槃図	南北朝	井尻野	宝福寺
31	彫刻	S 34. 7. 3	木造聖観音菩薩立像	平安	山田	善福寺
32	彫刻	S 34. 7. 3	木造不動明王立像	鎌倉	山田	善福寺
33	彫刻	S 34. 7. 3	木造毘沙門天立像	南北朝	山田	善福寺
34	彫刻	S 46. 5.25	木造薬師如来坐像	鎌倉	種井	東光寺
35	彫刻	S 46. 5.25	木造毘沙門天立像	鎌倉	種井	東光寺
36	石造美術	S 46. 5.25	四世高先和尚の墓石	室町	影	華蔵院
37	石造美術	H 7.12.13	藤原為貞宝篋印塔	鎌倉	清音柿木	総社市
38	石造美術	H 11. 4.28	種子十三仏（穴観音）	室町	奥坂	穴観音保存会
39	工芸・考古	S 39. 5.27	鬼の釜	—	黒尾	個人
40	工芸・考古	S 46. 5.25	厨子	江戸	種井	東光寺
41	工芸・考古	H 9. 9.17	扁額	昭和	清音軽部	大覚寺
42	史跡	S 34. 7. 3	佐野山古墳	古墳	井尻野	個人
43	史跡	S 40. 1.20	古川古松軒の墓	江戸	新本	宅源寺
44	史跡	S 40. 1.20	増弁入定地	江戸	上林	金龍寺
45	史跡	S 40. 7. 2	義民埋葬地	江戸	新本	西明寺ほか
46	史跡	S 41. 4.14	若水山古墳群	古墳	原	個人
47	史跡	S 41. 4.14	日羽大塚古墳	古墳	日羽	個人
48	史跡	S 41. 4.14	下村経塚	平安	下倉	個人
49	史跡	S 41. 4.14	美袋本陣跡	江戸	美袋	岡山西農業協同組合
50	史跡	S 46. 3.20	角力取山古墳	古墳	岡谷	総社市
51	史跡	S 46. 3.20	宿寺山古墳	古墳	宿	個人
52	史跡	S 46. 3.20	赤坂龍塚古墳	古墳	岡谷	個人
53	史跡	S 46. 3.20	道満塚古墳	古墳	地頭片山	個人
54	史跡	S 46. 3.20	一里塚跡	江戸	西部	共有
55	史跡	S 46. 4. 1	ケンギョウ田遺跡	—	日羽	個人
56	史跡	S 50. 2. 3	幸山城跡	鎌倉～安土桃山	西部	共有
57	史跡	S 55. 1.14	鬼ノ身城跡	南北朝～安土桃山	山田	個人
58	史跡	S 58. 3.10	伝備中国府跡	奈良～平安	金井戸	国
59	史跡	H 6.10.24	総社跡	平安	総社	総社宮
60	史跡	H 7.12.13	峠1・2・3号墳（歴史広場）	古墳	清音三因	総社市
61	史跡	H 11. 4.28	経山城跡	戦国～安土桃山	黒尾	総社市
62	史跡	H 16.10.13	三因古墳群	古墳	清音三因	個人
63	史跡	H 23. 6.23	一丁塚古墳群（4基）	古墳	秦	地区有
64	天然記念物	S 40. 7. 2	いぶき（正眼寺）	樹齢約500年	東阿曾	正眼寺
65	天然記念物	S 41. 4.14	作原の椋の古木	樹齢約500年	日羽	総社市
66	天然記念物	S 46. 4. 1	草田八幡宮の社叢	—	下倉	草田八幡宮
67	天然記念物	S 55. 1.14	滝山のカゴノキ	樹齢約500年	中尾	個人
68	天然記念物	H 7.12.13	いぶき（八幡神社）	樹齢約300年	清音軽部	八幡神社
69	天然記念物	H 7.12.13	むくろじ（2本）	樹齢約300年	清音軽部	軽部神社
70	天然記念物	H 7.12.13	なぎ	—	清音柿木	八柱神社
71	天然記念物	H 20. 6.23	美袋八幡神社のラカンマキ	樹齢約280年	美袋	美袋八幡神社

■産業別就業人口割合 (平成22年国勢調査)



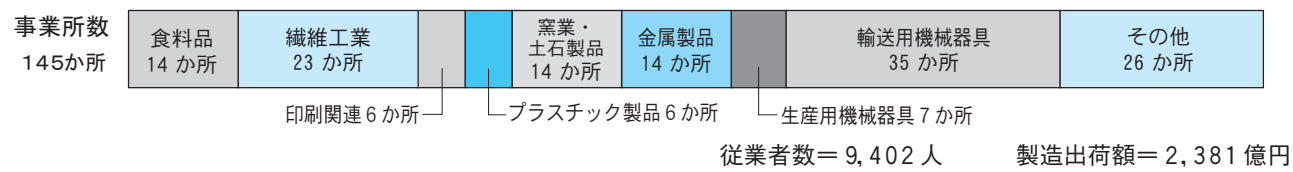
■商業 (平成19年商業統計調査)

商店数	従業員数	年間販売額
573店舗	3,718人	733億9,869万円

■農家数 (2010年世界農林業センサス)

農家数			
総数	専業	第1種兼業	第2種兼業
1,922戸	443戸	166戸	1,313戸

■工業の状況 (平成22年工業統計調査)



■上・下水道の普及状況 (平成25年3月31日現在)

【上水道】

給水区域内 人口 (A)	給水		普及率 (給水普及率 (B/A))
	人口 (B)	件数	
67,283	63,449	21,742	94.3%

簡易水道を含む

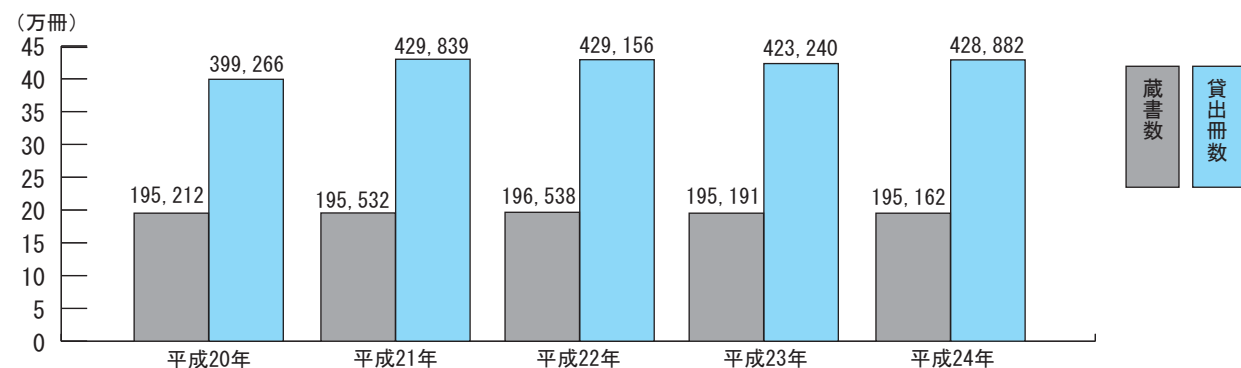
【下水道】

行政区域内		処理区域内			人口普及率 (B/A)	水洗化		人口水洗化率 (C/B)
人口 (A)	戸数	面積	人口 (B)	戸数		人口 (C)	戸数	
67,637	25,061	892ha	38,960	14,849	57.6%	36,582	13,779	93.9%

■幼稚園・小学校・中学校 (平成25年4月1日現在)

	園・校数	組・学級数	教員数	園児・児童数
幼稚園	18	68	97	993
小学校	15	182	328	3,952
中学校	4	72	169	1,995

■市図書館の蔵書数と貸出状況



昭和61年 1986

- 3月 総社市保健センター・総合福祉センターが完成
- 3月 鬼城山が国指定史跡に
- 4月 江崎古墳が県指定史跡に
- 4月 第1回総社れんげまつりが開かれる
- 9月 市営斎場が移動。福祉作業所がオープン

昭和62年 1987

- 8月 総社市民まつりとして市民総おどり大会開催
- 12月 神が辻日曜ふれあい市がスタート

昭和63年 1988

- 3月 山手村全域で下水道設備が完成
- 3月 浩宮様が鬼ノ城を御視察
- 4月 総社市シルバー人材センターが開所
- 8月 まちかど郷土館がオープン

平成元年 1989

- 6月 武道館オープン

平成2年 1990

- 8月 備中国分寺五重塔の解体修理に着手
- 10月 総社市で「第1回雪舟サミット」開催
- 11月 総社勤労者総合福祉センターが完成
- 11月 千引かなくろ谷製鉄遺跡で日本最古級の製鉄炉跡を発見される

平成3年 1991

- 3月 山陽自動車道岡山総社I.C-倉敷JCT間開通
- 5月 市立図書館の蔵書管理にコンピューター導入
- 7月 ふるさと創生中学生海外ホームステイ事業が始まる
- 9月 台風19号で解体修理中の備中国分寺五重塔が倒壊

平成4年 1992

- 3月 山手村民センター(現山手公民館)が完成
- 5月 新しい下倉橋が完成し、開通式が行われる
- 5月 カミガツジプラザ完成
- 5月 清音村福祉センターが完成
- 9月 学校週5日制スタート

平成5年 1993

- 4月 岡山県立大学・岡山県立大学短期大学部が開学

平成6年 1994

- 1月 新消防庁舎が完成
- 2月 大野昭と斎(片岡誠喜男)氏を名誉市民に推したい
- 2月 備中国分寺五重塔の保存修理が完了し、落慶法要
- 2月 総社市を発着点にして吉備路マラソンが始まる
- 7月 埋蔵文化財学習の館がオープン

平成7年 1995

- 2月 交響詩曲「吉備路」発表
- 3月 JAきびが発足
- 4月 砂川公園が完成オープン
- 9月 原地区へ清梁園が移転新築
- 9月 清音ふるさとふれあい広場が完成
- 10月 総社北公園オープン

平成8年 1996

- 1月 橋本龍太郎(総社市出身)連立内閣誕生
- 7月 第1回雪舟の里墨彩画公募展審査

平成9年 1997

- 3月 岡山自動車道(岡山総社I.C-北房JCT)開通
- 4月 吉備路クリーンセンター稼働
- 5月 長野士郎氏を名誉市民に推したい
- 10月 清音浄化センターが供用開始

平成10年 1998

- 12月 総社駅の橋上化工事完成

平成11年 1999

- 1月 井原線開業(11日、午前11時11分11秒)
- 4月 市スポーツセンター野球場ナイター設備完成
- 6月 きよね水辺の楽校が完成
- 9月 山手スポーツ広場が完成

平成12年 2000

- 2月 回覧板チャンネル放送開始

- 12月 総社東中と総社西中に設置されたテレビ会議システムを使ったテレビ会議を実施(県内初)

平成13年 2001

- 2月 総社市で戸籍事務の電算化の稼働(県内市では初)
- 2月 総社はばたき園の園舎しゅん工
- 3月 下倉槻地区内の採石場で大規模崩落
- 11月 史跡 鬼ノ城山(鬼ノ城)環境整備工事開始

平成14年 2002

- 3月 総社ふれあいセンター開設
- 3月 市立図書館「えほんのもり」を新設
- 4月 久米大池奥で過去最大規模の山林火災発生
- 7月 ファミリー・サポート・センターがオープン
- 9月 新体育館「きびアリーナ」がオープン

平成15年 2003

- 3月 そうじゃ水辺の楽校が完成
- 4月 豪深秦橋と秦トンネルがしゅん工
- 5月 きよね夢てらすが完成
- 7月 国民宿舎 サンロード吉備路がオープン
- 10月 鬼ノ城西門の上棟式が行われる
- 10月 総社市・山手村・清音村合併協議会が発足

平成16年 2004

- 6月 江口敏臣氏を名誉市民に推したい
- 11月 高木聖鶴氏を名誉市民に推したい

平成17年 2005

- 3月 総社市・山手村・清音村が新設合併。新総社市が誕生
- 3月 東総社中原本線が全線開通
- 8月 鬼城山ビジターセンターがオープン
- 8月 市議会の解散を求める住民投票。賛成多数で議会解散
- 9月 総社駅前広場が完成
- 10月 第60回国民体育大会

平成18年 2006

- 11月 高木聖鶴氏が文化功労者に選ばれる
- 11月 橋本龍太郎氏を名誉市民に推したい

平成19年 2007

- 5月 百条委員会(建設工事等の入札に係る指名事務調査特別委員会)の設置
- 11月 まなびピア岡山開催

平成20年 2008

- 2月 市と岡山県立大学が連携協力に関する協定を締結
- 3月 国道180号バイパス(服部地内)が開通
- 4月 ブラジル人学校のエスコラ・モモタロウ・オカヤマが開校

平成21年 2009

- 2月 そうじゃ吉備路マラソン復活開催
- 6月 アムダグループと多文化共生に関する協定を締結
- 6月 水道部が清音支所で業務開始

平成22年 2010

- 2月 清音駅東側のロータリーや広場の整備完了
- 7月 防災機能をもつ常盤公園オープン
- 9月 市民憲章運動推進第45回全国大会 総社大会
- 10月 第25回国民文化祭・おかやま2010

平成23年 2011

- 1月 ご当地ナンバープレート交付開始
- 4月 総社市新生活交通「雪舟くん」の運行開始
- 8月 古代吉備のロマン学「総社観光大学」を実施

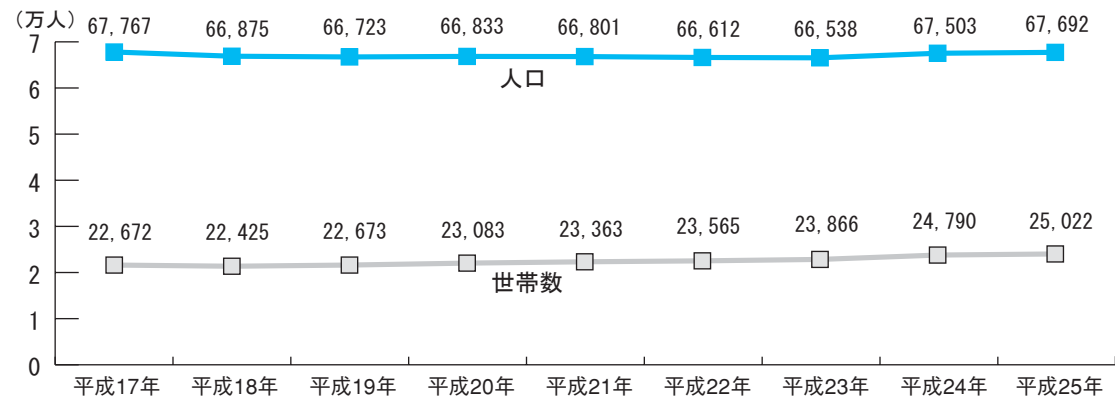
平成24年 2012

- 4月 障がい者千人雇用センター開所
- 9月 ロンドンオリンピックボクシングバンタム級銅メダルの清水聡さんに市民栄誉賞を授与
- 11月 ロンドンオリンピック陸上女子1万m9位の新谷仁美さんに総社市スポーツアワードを授与

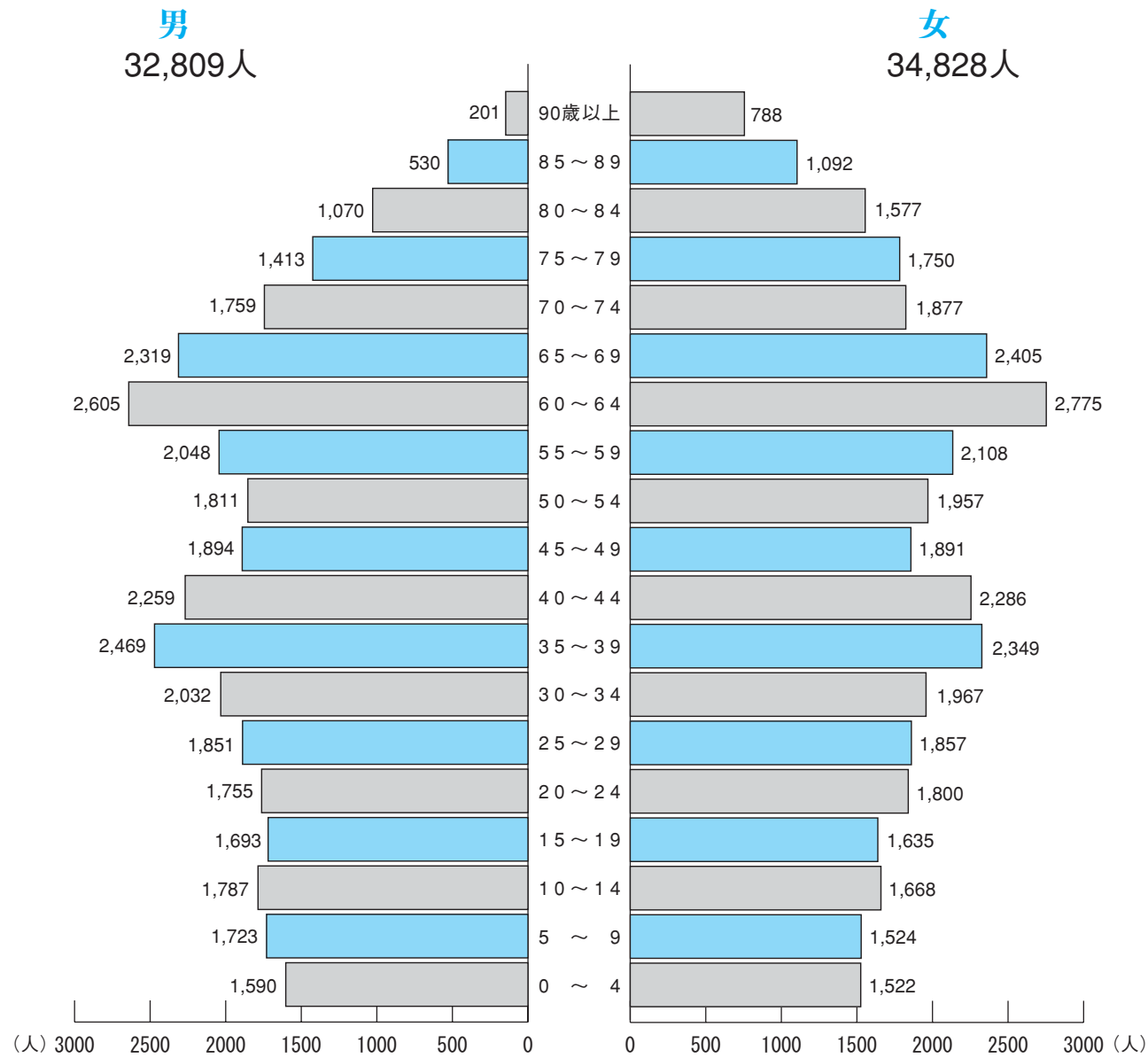
平成25年 2013

- 5月 第1回総社芸術祭を開催
- 10月 高木聖鶴氏が文化勲章を受賞

■人口と世帯数の推移 (住民基本台帳 [毎年1月1日現在])

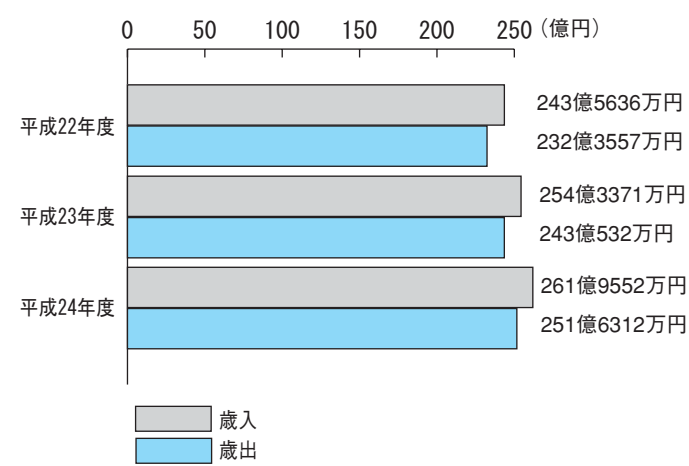


■年齢別の人口 (平成25年4月1日現在)

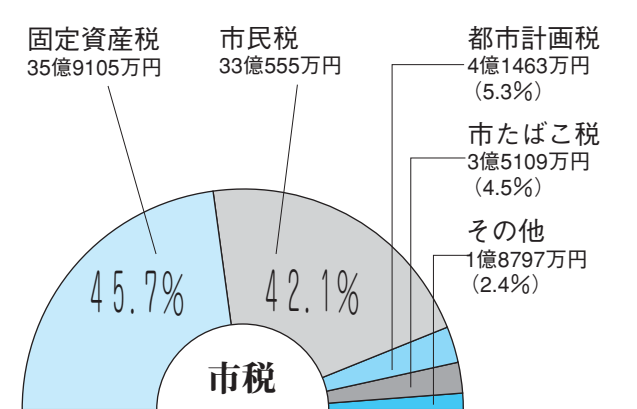


※本冊子で使用している数値で、平成17年3月21日以前の数値は、合併前の総社市、山手村、清音村の合計数値です。

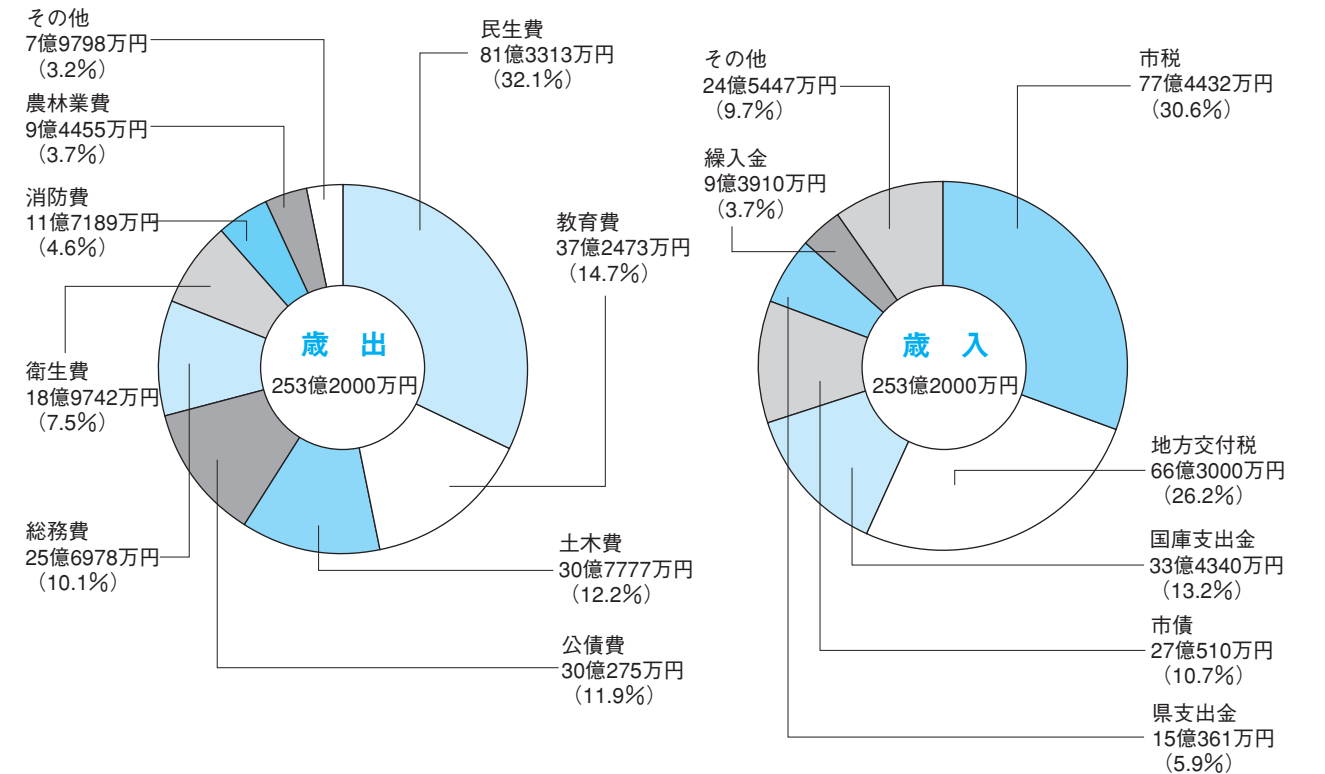
■決算の推移 (一般会計)



■市税の税別の割合 (平成24年度決算)



■平成25年度一般会計予算



■各会計の歳出の推移

(単位：万円)

会計名	平成23年度	平成24年度
●一般会計	2,430,532	2,516,312
●特別会計		
国民健康保険	612,786	665,017
後期高齢者医療	63,363	68,453
介護保険	443,635	466,051
農業集落排水事業費	28,696	28,830
国民宿舎事業費	70,749	68,391
総社駅南地区土地区画整理事業費	74,798	90,430
公共下水道事業費	205,218	188,797
合計	1,499,245	1,575,969
●公営企業会計		
水道事業	104,147	105,625
工業用水道事業	2,586	2,311

※公営企業会計については税抜きの額